

議決事項

件名	提案理由	審議の状況	採決の次第
<p>報告第19号 鹿児島県立垂水高等学校生徒通学費等補助金交付要綱の一部改正について</p>	<p>鹿児島県立垂水高等学校生徒通学費等補助金交付要綱の一部改正について、教育長の臨時代理により要綱を一部改正したこと、及びその内容について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第20号 学校施設環境改善交付金に係る施設整備計画の事後評価について</p>	<p>学校施設環境改善交付金に係る施設整備計画の事後評価について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>議案第15号 垂水市招致外国青年任用規則の一部改正について</p>	<p>垂水市招致外国青年任用規則の一部を改正しようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>

平成28年度第4回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
<p>平成28年7月11日（月）</p> <p>午後2時00分</p> <p>↓</p> <p>午後4時27分</p> <p>第2研修室</p>	<p>教育委員長 野村 繼 治</p> <p>教育委員 田原 正 人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育委員 葛 迫 幸 平</p> <p>教 育 長 長濱 重 光</p>	<p>教育総務課長 池 松 烈</p> <p>学校教育課長 下江 嘉 誉</p> <p>社会教育課長 野 嶋 正 人</p>

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成28年度第4回教育委員会定例会を開会した。

2 平成28年度第3回教育委員会定例会会議録の承認

承認

3 議 事

報告第19号 鹿児島県立垂水高等学校生徒通学費等補助金交付要綱の一部改正について

報告第20号 学校施設環境改善交付金に係る施設整備計画の事後評価について

議案第15号 垂水市招致外国青年任用規則の一部改正について

4 その他

移動教育委員会について

5 委員並びに教育長及び課長報告

6 閉 会

議事内容等

3 議 事	報告第 19 号
教育総務課長	鹿児島県立垂水高等学校生徒通学費等補助金交付要綱の一部改正について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告。
田原委員	対象者が1名おり、一部補助ということで2万円が限度だが、現在この生徒の家賃がどのくらいで、賃貸住宅に住んでいるのか、現状を教えてください。
教育総務課長	この生徒については、個人宅に下宿しており、3食付いて68,000円で、そのうち家賃部分が30,000円、残りの38,000円が食事を含めた生活一切の提供として分けられているので、今回の要綱の一部改正においては、家賃部分の30,000円全額が対象となり、上限額の20,000円が支給されることになる。
田原委員	狙いとしては、今後、離島の生徒とか通学が困難なところから来る生徒を対象にしようと、進めているのか。
教育総務課長	そうだ。
	報告第 20 号
教育総務課長	学校施設環境改善交付金に係る施設整備計画の事後評価について報告。
田原委員	耐震化率は100%達成できている。12ページに長寿命化計画を策定しとあるが、長寿命化というのは何年ぐらいまで保たすということか。中身としては、定期的なメンテナンスとかそういうことか、具体的に教えてください。
教育総務課長	学校施設以外で例をあげると、土木関係の市道とか橋は、長寿命化計画の中で、市道とか橋ひとつひとつを何年度に整備し、何年度に修繕を行ってきたかをかかげて、将来的にどのように維持していくかなどの計画を作り、例えば市道であれば、いつ舗装をやっていくのか計画を立ててやっていく。しかし、計画年度によっては、例えば、平成28年度は5千万円だが、29年度は5億円になってくるようなこともあるので、財源の確保が必要になってくる。現在、財政課で学校施設も含めた市の所管する公共施設をどのような計画でやっていくかをまとめているので、それらの資料提供を受けて、長期的な計画を立てていきたい。維持管理をする中では、財源の確保も重要になってくる。今回の熊本大震災で、国の方でも、耐震化の見直しもするかもしれないという話もあるので、これらの対応も図っていかないといけないと思う。
委員長	この学校はこのように管理したという具体的な例があればわかりやすい。まだ、残っている整備計画があるのか。市内の整備計画はもう終わったのか、教えてください。

教育総務課長	平成 27 年度の水之上小学校の体育館の完成で、危険校舎はなくなり、耐震化率は 100%になった。プールの改修等もやっており、だいぶ施設の整備は済んできている。ただし、施設の維持管理の観点からは、学校施設でということではないが、コンクリート造で 50 年を経過したものもあつたりするので、市全体で、財源の確保を計画的にやっていかないといけない。予算の平準化も図らないと、各所管の事業にも影響が出たりするので、市全体で調整を図っていく。
教育長	中央中は統合して、11 億 7 千 5 百万円かけて改修し、武道館を新築した。小学校は、新城小、柗原小、松ヶ崎小、牛根小、境小、協和小の 6 校を外壁改修して校舎は綺麗になった。水之上小は、雨漏りがあつたので 3 年前に教室など 2 棟の屋根を全面的にやりかえて、雨漏りがなくなった。8 校のうち 7 校は、外壁改修も済んだが、体育館も校舎と同じく劣化も進んでいて、壁が落ちたり、庇が落ちたりしている。そういうところを手がけていかないといけないという課題と、垂水小は、南側の校舎から北側の校舎に行く渡り廊下は雨漏りがすごい。現在、垂水小の校舎をどうすればいいか、業者に委託している。それを踏まえて、教育委員会での対応を考えていかなければならない。それから、もうひとつは、体育館の外にあるトイレの改修が課題である。今後陸上競技場でやっていた市民体育祭や陸上記録会を垂水小ですることになり、プライバシーが守られるトイレに改修しなければならぬ。それから体育館は、床が摩耗しており、床を綺麗に磨くなど、少し手をかけると、見栄えが違う。また、松ヶ崎小学校の体育館も入って左側が雨漏りがするので、校舎改修が一通り済んだことから、体育館や付属施設も手がけていかないといけないと感じている。
委員長	垂水小は、耐用年数はきているのか。
教育総務課長	昭和 47 年前後に建っているのです、今で 43 年です。
教育長	後 2 年で 150 周年となることから、それに合わせられたらいいと考えている。
葛迫委員	垂水小は昨年外の工事をやったが、その時一緒にできなかったか。
教育総務課長	財源的なものがある。先程の施設の件、とりまとめたものをコンサルタントに委託し、将来的にどの時期にやっていくかを整理し、国に手を上げていけば、今まで、起債、お金を借りて償還する分に、たとえば、特別交付税での手当をしてもらえなかったものが、見直しをしてくれるかもしれないというがあるので、そういうことに乗っていければ、財政的なものも少しはよくなっていく。また、予算の平準化をいったが、市全体の予算もうまくまわっていけるようになる。
教育長	以前の工事は、中はしていないが、講堂を解体し、駐車場を整備した。これまで講堂を選挙時の投票所にしてしたが、危険建物だったので取り壊し、体育館が選挙時の投票所になったが、車椅子用のスロープがなかった

	ため、駐車場と併せて整備した。
委員長	以前よりよくなった。
教育長	中央中の体育館も前のままだが、中をよくしただけで、だいぶ変わった。
葛迫委員	中央中の体育館は築何年か。自分が中学2年のときに建った。
教育長	大規模改造で整備した。
委員長	トイレのことだが、最近の子ども達は、水洗になれていて、おうちのトイレでないと、用を足せない、アンケートに出ていたが、7ページの垂水小学校のトイレを、52ある大便器のうち2つしか洋式化がしていなかったため、各トイレの1つを洋式化し、トイレ環境を改善したとあるが、2つしか洋式化していなかったのをいくつ改善したのか。
教育総務課長	補助対象となる52ある大便器のうち20改修して、洋式が22となった。各トイレ最低限1個を洋式化した。付帯施設のトイレまで加えると、現在58のうち、洋式が22、和式が36である。
教育長	職員室の近くに男女のトイレがあったが、男女それぞれのトイレごとに洋式を1個ずつ、それを1階、2階、3階、他の校舎も同様に改修したとして、イメージいただければよい。
委員長	外のトイレもそうなればいいが。
教育長	外のトイレは、垂水小の運動会、地区の運動会でも解放されて使用されている。1回、1回、靴を脱いで、校舎の中の使用するよりはいい。
田原委員	それは、公民館も同じだ。
教育長	外のトイレ改修については、課題意識として持っている。今後、時間はかかるが対応を図っていく。
学校教育課長	議案第15号 垂水市招致外国青年任用規則の一部改正について説明。
委員長	異議がないようなので、議案第15号は承認された。
4 その他 教育総務課長	移動教育委員会について 昨年と同様に、8月9日に水之上小学校で移動教育委員会として定例会を開催し、その後、地域住民等と教育委員との意見交換会を実施することについて説明。

田原委員	私は教育委員の立場で出席するので、公民館主事の出席に配慮を図ってほしい。
教育総務課長	参加者に「外地域住民」と掲載している。一人でも多くの方々の出席がいただきたいので、出席をお願いしてみる。
教育長	今回テーマを1つにしたのは、PTA会長さんや副会長は、「子どもの学力向上のため」についての話はされるが、民生委員さんや公民館長さんは、2の方の話に及んでしまう傾向があるので、一本化した方がいいと考えた。
委員長	確かに進行していく中で、話が1にいたり、2にいたりのごっちゃになるところがあった。一つにまとめた方が進行もしやすくなる。
教育長	一本化にすることで、話が広がりやすくなって、多方面から話が出てきやすいと思う。
田原委員	水之上地区について思うことは、学校訪問もしたが、最近学力が低くなっている。地域性も2つに分かれている。もともとあった田舎ののんびりしたところと、半分住宅の方もあって、鍵っ子の多いように思う。共働きだったりして、近所とのつきあいがあまりない家庭もある。昔から地域にどっぷりなじんだところと、あまりそうならないところと出てきている。学校の方も子ども達だけの教育じゃなくて、家庭を巻き込んだ教育も必要と思う。公民館の方でも、次世代を育てるという意味で、小中学生、高校生、ゆくゆくは、青年団という人達を巻き込んで、活動を推進していきたい。少し独特な地域性というか、外にない部分があるような気がする。
委員長	子供達はどうか。住宅の子は住宅の子でまとまってというようなセクショナルなことはないか。
田原委員	住宅の子どもは案外遊んでいない。帰って家に入ったら、もう遊びにいかない。外で遊ばないで、家にこもって、いろんなゲームで遊んでいる。そういう現代っ子みたいところがある。
学校教育課長	移動教育委員会の日は、「あつまれわんぱく！夏の勉強会」の1日目である。そこで、13時に市民館に集合し、中央中で約30分ほど参観していただき、14時からの委員会に間に合うように送迎したいと考えているがどうだろうか。
教育長	事務局で、ワゴン車を準備し、市民館の駐車場からお送りして、こちらの駐車場に帰ってくることにしたい。
委員長	1つ気がかりがある。自分達はいろんなことが出るんじゃないかという構えた雰囲気になってしまう。地域の方々もかしまってしまう。代表の方々も一言も話さなくなってしまうようなことが心配である。もっとフランクにできるような工夫はないか。

教育長	毎年、代表者の方々はそれぞれのお立場で考えを持っておられる。いつもはこのようなテーマで行うので、何か事前にお考えくださいとお願いがしてあるので、当日は、最初、お一人ずつ指名をされた方がいいと思う。その後は、フリートーキングがよい。
田原委員	一つは、教育委員会というものが、あまり知られていないことから、何を言ったらいいか分からないのではないかな。
教育長	移動教育委員会はやっているところが県下でいくつかあるが、意見交換会はやっているところはあまりないのではないかな。だから、委員の方々には自信を持って、垂水はこういうことをやっていると言っていたきたい。
社会教育課長	<p>錦江湾シーカヤック大会 in 垂水について説明。</p> <p>舞台劇「蒼空～空どこまでも蒼く～」の公演について説明</p>
5 報 告	委員並びに教育長及び課長報告
委員長	教育委員、教育長及び各課長の報告に入る。
委員長	<p>1. 「水之上小学校、垂水小学校学校訪問について」 水之上小学校、垂水小学校学校訪問について、小学校8校、中央中は1校だが、どこもよく頑張っている。 垂水小について全体的に捉えると、各学級の経営状況については、まあよくなされていると思われたが、ちょっと気になる学年もあった。ある学年では、授業に集中できないような態度の子どもがいた。何度か様子を見ていたが、継続的に集中できないという感じであった。訪問の日だけの一時的なものであればそれでいいが、日常的なものであったとしたら、担任の先生が手に余るようであれば、まずは、学年全体の問題として早めに対応された方がいいと思う。早く何とか手立てをして、クラス全体が一緒になって授業に集中できるようになればと願っている。</p> <p>2. 「シンクロの井村コーチについて」 7月9日の夜のテレビで、シンクロの井村コーチの話があった。以前の、中国へ行く前の選手達に比べて、日本の若者達の体力、精神力が大変に落ちている。ちょうどゆとり教育世代である。厳しく指導すれば、しまいには、泣き出す子が多い。後すぐフォローしないと、指導に乗ってこない。あきらめ逃げる気持ち強い。よって、指導する側も今までと違って、笑顔で接したり、優しく声かけをして慰めたり、変に気を使わなければならない。垂水小もベテランの先生方も多いわけだから、チームとして取り組むことで、その解決も、うまくいくのではと思う。</p> <p>3. 「「垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン」を資料に意見交換会について」 6月27日の意見交換会で、垂水市行政の中で、遠大な創生戦略プランが</p>

準備され進行していることが、具体的にまた個別的にわかった。まさに、目から鱗の感じがした。かねて市報等で部分的な情報はあがるが、今回の意見交換における「垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン」の資料は細説まで網羅したもので圧巻である。私共はかねて教育行政に関するエリアの中だけで関わっているような気がしてならない。今回の意見交換会は、市の行政全般に対して、広く目を開き、大局に立って、市の活動プランを総合的に理解する上で、大変有意義であった。今後とも是非また同じような会を計画していただきたいと思う。

田原委員

1. 「水之上小学校、垂水小学校、垂水中央中学校学校訪問について」

水之上小の課題は学力向上である。テストの結果から見て、問題になっていない子供達がかかり多い。個人指導、保護者と連携した家庭学習に取り組んでいく必要がある。もっともっと全校体制で取り組んでいけばいいと思う。昨年開催の「あつまれわんぱく」も参加が少なかった。是非今年は参加者を増やしてしてほしい。先生達の参加も多ければありがたい。

垂水小は、学習のしつけとか学業指導とか、1年生から6年生まで徹底している。人数が多い学校なので、個別の指導とか、先生の指導についていけない子供が何人か出てきているようであるが、そういう子供を引きつけてやっていく部分をどうするかということだ。高学年の算数で、習熟度別の少人数指導をやっておられたが、必要なことで、いいことだと思う。前年度は算数の学力がかかり落ちていたが、今年見てみたら、すごく回復しているのが見られた。やはり、垂水小学校が、垂水市の学力の結果を左右するんだという職員の意識、危機意識が学力向上に結びついたと思う。外の学校でもこういう危機意識を持つことが重要だ。

垂水中央中は、職員が大幅に入れ替わってきているが、それまで続けてきていた経営のいい部分、変えてはいけない部分をはっきり出している。例えば、授業モデルを作って全職員に研修で徹底させる、あるいは、毎年学校経営が少しずつ変わってきているが、ふるさと教育への取り組みとか、さらには、生徒会の本年度の「いじめを許さない校風づくり宣言」とか、素晴らしい。そういう新しい視点での切り込みが見られて充実した経営をされているのを感じた。それから、校長先生が、剣道部の話をされたが、校長先生が子供達の中に入って、生徒一人一人に声をかけているのがよくわかる。そういう姿に子供達が応えており、いい関係だと思う。

2. 「教育委員会意見交換会、市長と語る会について」

市長と垂水市の教育とか、子育てとか、そういう施策について、身近に、十分な時間を取ってできたのは非常によかった。私共も、5年後、10年後、20年後という長いスパンに渡ってのまちづくりのビジョンを聞いて、そのことで、私共も垂水市の教育やまちづくりについて、どう関わっていけばいいのか、方向性のようなものが見つけられた。そういった意味で、今年はいいい会だった。あと、人づくりの部分で、垂水市は子供や壮年部のところは、いろいろな手立てが行われているが、婦人の部とか青年の部とかの活動は、弱いと思う。今後、市としても力をいれていくべきであると思う。

3. 「垂水市青少年育成合同会議について」

会の中で、スマホ、ケータイの危険性の啓発ビデオというのを見せていただいた。非常にいいビデオだった。児童、生徒、保護者に是非見せては

しい。いろんな危険性を孕んでいるということを十分理解できるビデオなので、学校、PTAの会などで啓発資料として、見せたいビデオでした。

4. 「垂水市の退職校長会について」

7月8日垂水市の退職校長会があり、私や委員長も出席した。全部で16名いるが、今は、出席できそうな方が10名である。今回は、10名の中でも7名出席、教育長を入れて8名で会を行った。今年は、会員の中から教育長に、「垂水市の教育について」語ってほしいと要望があって、自分達も質問や意見を言いたいとのことだった。その時リーフレットを持ってきていただいた。その資料が非常によく、一目瞭然で分かりやすいので、それに対して、意見がどんどん出された。なかでも、肥後前教育長が「ふるさと垂水を愛し、誇りにする子供の育成」という理念、それから、さわやかあいさつ運動、こういういいものが継承され、充実発展してきている。「すべての教育活動が、自分達の時よりも進化してきている。」という、お褒めの言葉があって、こういう方々も垂水の教育について、関心を持っていらっしゃるし、思い入れも強いものを感じた。リーフレットをいろんなところで活用し、垂水が目指している教育を、私達も啓発していかなければならないと思った。意義のあるいい会になったと思った。

中谷委員

1. 「黎明館開催の女流展について」

6月19日黎明館で開催されている「女流展」を地域の方々8人くらいで見に行った。帰りに、中央駅近くの長島美術館にも行ってきた。そこには、和田英作の胸像があった。そこで皆さんと絵の話になって、和田英作の絵が何処にあるんだろうという話だったが、柗原にお住まいのお宅に薔薇の絵が2、3点飾ってあるので、確認をされてみたらとの話が出された。

2. 「水之上小学校、垂水小学校、垂水中央中学校学校訪問について」

水之上小学校、垂水小学校、垂水中央中学校学校訪問について、どの児童、生徒も集中して授業を受けていたが、やはり私が思うのは、長期欠席の生徒のことである。長いこと学校に行っていないという重い事実を、どうやって家族の方と心を開いて、話していけるのか、話していける方法を今自分で考えているところである。

3. 「教育委員会意見交換会、市長と語る会について」

市長との意見交換会において、つまりは子供達の幸せが皆さんの願いだという確認ができた。垂水の子供達が、学校に自分の居場所があって、学校生活が送れるようにますます手伝いたいと思った。

4. 「夏休みについて」

長い夏休みが始まるが、個人的に、寺子屋を開催する。いま、柗原小にカナダの4年生、2年生がいるが、その子達が学校から帰って母親に、「夏休みになったら、どうやらみんなお寺に行って、宿題をして、みんなで一緒に遊ぶんだって。僕も行くね。」と、母親に英語でしゃべったようだ。母親は、「大人の生活ではなくて、長い夏休みの間に、子供達の生活をさせたいから、うちもやりますからよろしくお願ひします。」と言ってこられた。これからもずっと場所の提供はやっていきたい。

5. 「納涼大会について」

8月16日に柗原小の体育館をお借りして、納涼大会をする。これは、私共がだいぶ前に15年間花火大会をしていた。しばらく開催していなかった

が、要望もあって、今は、体育館であれば、地域みんなが歩いて行ける場所にあり、雨も関係ないということで、体育館をお借りして納涼大会をしている。長い休みの間の楽しみ。子供達も楽しいし、地域の大人達も楽しい。体育館は暑くて、クーラーもなく、とても暑いが、団扇片手に夕涼みの気分で、いつも百何名集まってくる。夏に帰省された方々もそれを少しずつ楽しみにしてくださるようになりつつある。先も出ていたが、ふるさと垂水を忘れないで、ふるさと垂水にいつでも帰ってこれるとともに、迎えることができるような雰囲気づくりを地域でしたいと思う。7月8日は、柘原小校長先生御夫妻と教頭先生、公民館長でそれぞれ料理を持ち寄って、私の家で、自分達のその会の話し合いを行った。その納涼大会には小学生も中学生も高校生も大学生の参加もあるので、子供からお年寄りまで、集いの場であるので、是非今年も小学校の体育館で賑やかに開催したい。

葛迫委員 中谷委員の方から、柘原に和田英作の絵があるとあったが、自分が中学生か高校生の頃、柘原に蔵みたいなのがあって、多分そのことかなと思います。古美術商みたいなのがいらしたところではないだろうか。

中谷委員 そこには誰も住んでいないが、多分2、3点はあるだろうということと、薔薇の絵は、もうひとかた普通の個人の家にあると聞いている。2軒だが、ある方のところは薔薇の絵が1枚と、古美術商の方にはいくつかあるだろうというお話である。見たことがあるという話ではない。

教育長 古美術商の方は実際探されたが、まだ見つかっていない。また、探されるそうだが、あればいいが。

中谷委員 もうひとかたのところは、必ずあるそうだ。

葛迫委員 入手先とかわかっているのか。

中谷委員 古美術商の兄弟で、いただいたという話だ。

委員長 真贋はどうか。

葛迫委員 鑑定をした方がいい。

葛迫委員 1. 「垂水市図画作品審査会について」
6月29日に垂水市図画作品審査会があった。この審査会は鹿児島県の図画作品の地区審査ということで、毎年文化会館だが、今年は、市民館の大ホールで行った。幼稚園、保育園、小学校の低学年の作品は、身近な家族や友達、動物が多く描かれていた。小学校の高学年から中学校の生徒については、やはり行動範囲が広がっていくから、学校の校舎や、地区の暮らし、まちの様子や、港等が描かれていた。今年も、観察力が向上していると、直感で思った。ものをよく見て描いている。ものをよく見るということは新しい発見で、違いが分かるということである。その違いが重要なポ

イントだと、絵を描いているときに思う。具体例を上げると、小学校1年生のトマトを描いている作品だが、一緒に審査をした中学校の先生が、1年生がしっかりトマトの実の付き方を描いているのは見たことがないと感じてくれた。中学生の作品も、風景を描いているが、遠近法によって、向こうの色とこっちの色の違いを自分でよく探して描いている。観察力が非常についたなと感じた。こういうことを続けていくと、非常にものを見て描くということで、いろんな違いがわかるという新しい発見になるので、続けてほしい。ただ、園児は、絵を描かせないと描かないということがあつた。それは、園によって同じような絵ばかりだ。落書きや、ものを壊すことから始まるから、幼稚園、保育園の先生達にもそういう指導方法でしてほしいと感じた。

2. 「垂水中央中学校学校訪問について」

垂水中央中の学校訪問は、10学級を50分ではばっばと見たという感じであまり頭に入らなかつたが、美術は印象に残つた。ピカソのゲルニカについて先生が説明をされた。後で、美術と社会の関わりについて、発表したり、書いたりする学習で、高校生、大学生の授業を見ている感じがした。自分の考えも入れて描いていくという美術の指導というのは、今までにない小中学校の指導だつたと感心した。指導課長のまとめの話の中で、靴箱であつたり、トイレであつたり、空き室であつたり、すべてが整理整頓されている中央中はすごく綺麗で、凛としているという話をされていた。中央中はこういうことで、そういう教育で子供達の学力を高めたり、体力、それは精神面につながっていくのではないかと話を聞いて感じた。中央中の取り組みは、素晴らしいと感じた。

教育長

1. 「垂水市PTA連絡協議会バレーボール大会について」

6月19日日曜日に恒例のPTA主催のバレーボール大会があつた。今年は、終原小学校PTAが当番であつた。市内の保育園、幼稚園、小中学校、垂水高校、PTA会員一堂が会してのバレーボール大会で、各学校練習をされたのか、レベルの高い大会だつた。初期の目的である、各学校の保護者と先生方の親睦を図るといふことと、他校の学校との連帯感が深まり、非常にいい大会になつた。

2. 「学校訪問について」

学校訪問について、御意見等やら感想をいただいたが、私も先般の校長会で、3つの視点を持って学校訪問をしたと伝えた。ひとつは、3月までに管理職とともに作成した学校向上モデルが、どれだけ利用され、意識した取り組みがなされようとしているかという視点、それから、2つ目は、教師力というか、担任の学級経営力というのがどうなのかという視点、3つ目は、その学校に自分達が校内で学べるような授業をされる先生が一人でもいるのかという視点で学校訪問をさせていただいたという話をした。垂水小学校の授業を見て、担任の経営力というものは大きいなと思った。学習のしつけであつたり、子供達をコントロールできていたり、統率できていたりして、まとまりがある学級を作ることが学習につながっていくので、そのあたりの大切さを校長に対し、話をした。垂水小のような規模の学校は、全クラスが同じようなことを同じように取り組むのは難しいと思うが、それが一番大切だと思ふ。2年生の先生がそのことができているらば、

3年生で引き継いだ先生は、授業に入り込んでいける。今年は、いい方向に授業が変わりつつあるなど感じつつも課題が感じられた訪問であったと思う。校長先生方も、今話したことは、理解しておられるので、今後、授業の改善が図られたり、学力向上に向けて取り組んでいただけるものと感じている。

教育総務課長
学校教育課長
社会教育課長

6月18日から7月11日までの主な行事等について報告。
併せて、8月9日までの予定についてお知らせした。

6 閉 会